

特別企画：山形県内「連続増収増益企業」調査（2017・2018 年度決算）

2018 年度「連続増収増益企業」、県内に 256 社

～ 増収増益企業出現率は「建設業」「村山市」がトップ ～

はじめに

2008 年のリーマン・ショックから 11 年が経過した。当時は倒産件数・負債総額ともに激増し、大型倒産も数多く発生。国内経済においても金融危機が叫ばれたが、近年は、各種の消費刺激策やインバウンド需要の獲得などを追い風に企業業績は徐々に回復。2018 年度の業績は、大手を中心におおむね好調に推移した。

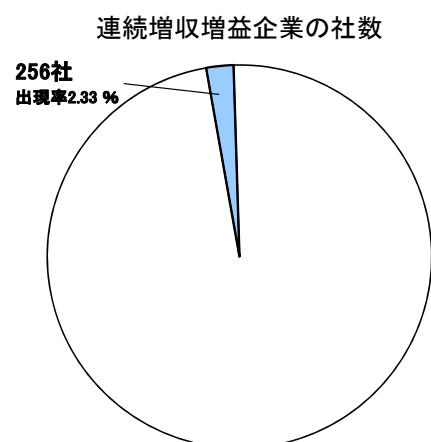
しかし最近では、米中貿易摩擦や中国・欧州経済の低迷といった懸念が表面化しているほか、中小企業を中心に人手不足や後継者難といった問題もあり、県内経済は楽観視できない状況が続いている。

帝国データバンク山形支店では、2019 年 10 月時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約 147 万社収録）のなかから、2016 年度～2018 年度の決算数値が判明した山形県内の約 1 万 960 社を対象に、最新 2 期連続で「増収増益」（赤字企業・変則決算除く）となった企業を抽出・集計・分析した。

※売上高・税引後利益は単体ベースで集計

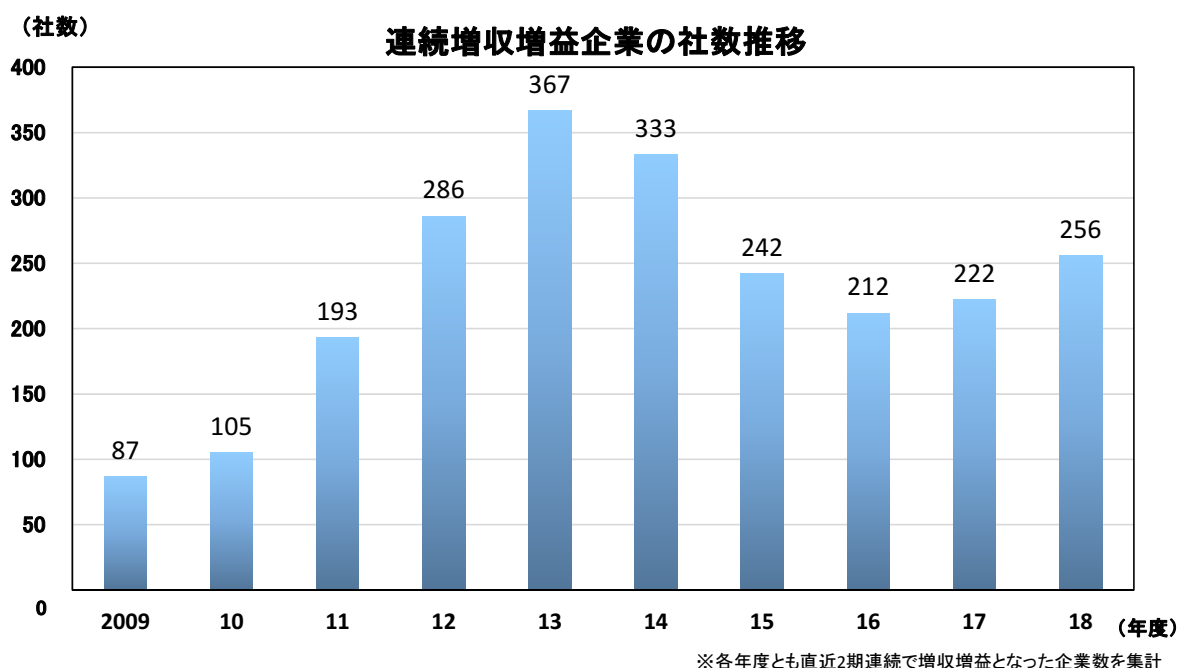
調査結果（要旨）

1. 2018 年度（2018 年 4 月期～2019 年 3 月期）決算で **2 期連続で増収増益を果たした企業数は、256 社**となった。
また、増収増益企業の全体に占める割合（増収増益企業出現率）は 2.33%となった。
2. 業種別にみると、「建設業」が 114 社でトップ。民間設備投資が堅調に見られたほか災害復旧工事なども多く、細分類で見ても「建設業」が上位を占める結果となった。
3. 市郡別にみると、企業数で 1 位は「山形市」（71 社）、2 位が「鶴岡市」（37 社）となった。一方、増収増益企業出現率では 1 位が「村山市」（6.81%）、2 位が「尾花沢市」（4.96%）と全く異なる順位となった。



1. 増収増益企業数の推移

2018 年度（2018 年 4 月期～2019 年 3 月期）決算で 2 期連続の増収増益を果たした企業数は、256 社となった。過去 10 年間に於ける企業数の推移を見ると、リーマン・ショック直後の 2009 年度は 87 社だったが、その後は右肩上がり推移し、ピークとなる 2013 年度には、円安による輸出関連産業の好調や、東日本大震災の復興関係の受注を獲得する県内建設業者も増えて 367 社を記録。以降は、各種コスト負担の増加や人手不足問題などもあり急激に減少した後、直近 2 年は回復しているもののピークアウトとなった感もある。



2. 業種別

業種別にみると、「建設業」が 114 社でトップ。業種細分類のランキングをみても、上位 10 業種中 9 業種に「建設業」がランクインした。背景には、山形県内での住宅建設や工場、老人福祉施設

業種別	増収増益企業数	増収増益企業出現率
建設業	114	3.95%
製造業	53	2.72%
卸売業	35	3.09%
小売業	15	0.83%
運輸・通信業	2	0.58%
サービス業	29	1.54%
不動産業	0	0.00%
その他	8	2.03%
合計	256	2.33%

業種細分類上位

順位	業種細分類	増収増益企業数
1	土木工事業	25
2	土工・コンクリ工事業	10
3	一般管工事業	9
4	一般電気工事業	8
4	土木建築サービス業	8
6	木造建築工事業	7
7	とび工事業	6
7	一般土木建築工事業	6
9	ガソリンスタンド	5
9	舗装工事業	5

など民間設備投資が堅調に見られることや、大雨などでの災害復旧工事が少なくなかったことがあげられる。次いで「製造業」が 53 社で続いたが、鉄鋼铸件からプラスチック成型、電子部品など裾野の広いサプライチェーン網が構築されている自動車関連が牽引した形となった。

増収増益企業出現率では「建設業」が 3.95%でトップとなった。「建設業」の次に企業数が多い「製造業」では、自動車関連など好調な分野がある一方、「半導体」など苦戦した分野もあり、出現率は 2.72%と「卸売業」の 3.09%を下回った。また、「小売業」「サービス業」「運輸・通信業」は全体平均の 2.33%を下回る結果となった。

3. 市郡別

市郡別にみると、企業数のトップは「山形市」の 71 社。次いで「鶴岡市」（37 社）、「酒田市」（24 社）と続いた。一方、増収増益企業出現率では 1 位が「村山市」の 6.81%。次いで「尾花沢市」の 4.96%となり、企業数と出現率は、分母となる企業数の違いを考慮しても、全く異なる結果となった。これは、「村山市」「尾花沢市」などの地方部においては、増収増益企業数の 65.2%を占めている「建設業」「製造業」が多く、基幹産業になっていることに対し、「山形市」など都市部では多様な業種の企業が存在しており、「建設業」「製造業」のウエイトが相対的に低いことが背景になっていると見られる。

市郡別出現率

市郡	増収増益企業 出現率	増収増益 企業数
山形市	2.46%	71
米沢市	1.70%	17
鶴岡市	3.40%	37
酒田市	2.21%	24
新庄市	2.56%	10
寒河江市	0.48%	2
上山市	1.31%	4
村山市	6.81%	13
長井市	0.55%	2
天童市	1.67%	10
東根市	1.86%	6
尾花沢市	4.96%	7
南陽市	2.00%	7
東村山郡	1.16%	2
西村山郡	1.24%	4
北村山郡	—	0
最上郡	2.56%	8
東置賜郡	2.52%	9
西置賜郡	3.91%	11
東田川郡	4.17%	10
飽海郡	2.02%	2

4. まとめ

2017 年度と 2018 年度決算の 2 期連続で増収増益となった企業は、山形県内に 256 社存在することが分かった。なかでも、民間設備投資が堅調に推移するほか、災害復旧工事などもあって環境面が比較的整っていた「建設業」、自動車関連などが牽引した「製造業」の 2 業種が上位を占めた。

他方、2014 年度以降の増収増益企業数は減少に転じており、直近 2 年は回復したもののピークアウトの様相を呈している。

最近では、人手不足による人件費増加や、消費税率引き上げによる消費の落ち込みも懸念されているほか、前期まで堅調であった自動車関連の「製造業」において、中国や欧州経済の失速から生産調整の話も聞かれるなど、これらの問題が今期（2019 年度）の企業業績にどう影響するのか、今後の動向に注目したい。

主な増収増益企業

TDB企業コード	商 号	業 種	所在地
160012310	第一貨物株式会社	一般貨物自動車運送	山形市
160078939	アイジー工業株式会社	建築用金属製品製造	東根市
160038844	エムテックスマツムラ株式会社	集積回路製造	天童市
160053804	株式会社山形部品	自動車部品付属品卸	山形市
160090773	株式会社庄内シャーリング	鉄鋼切断・溶断業	鶴岡市
170014318	株式会社ナカムラ	塗装工事業	鶴岡市
160002251	株式会社いそのボデー	自動車車体製造	山形市

※売上高・税引後利益は単体ベースで集計

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 山形支店 担当：佐藤 剛喜
TEL 023-622-4301 FAX 023-622-4415

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。